

大学番号：公039

[平成22年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置

届出

静岡県立大学大学院薬学研究科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

静岡県公立大学法人
平成23年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 事務局企画調整室

職名・氏名 サンジ 参事 モリモト 博俊 ヒロトシ

電話番号 054-264-5106

（夜間） 054-264-5106

F A X 054-264-5099

e-mail tyous2@u-shizuoka-ken.ac.jp

目 次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	4
3	施設・設備の整備状況、経費	6
4	既設大学等の状況	7
5	教員組織の状況	8
6	留意事項に対する履行状況等	14
7	その他全般的事項	15

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

静岡県公立大学法人

(2) 大学名

静岡県立大学大学院

(3) 大学の位置

〒422-8526

静岡県静岡市駿河区谷田52-1

(静岡県静岡市駿河区小鹿二丁目2番1号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(スズキ マサチカ) 鈴木 雅近 (平成19年4月1日)	(タケウチ ヒロシ) 竹内 宏	任期満了による(23) (平成23年4月1日)
学長	(キナエ ナオヒデ) 木苗 直秀 (平成21年3月10日)		
研究科長	(イマイ ヤスユキ) 今井 康之 (平成19年10月1日)	(トヨオカ トシマサ) 豊岡 利正	任期満了による(23) (平成23年4月1日)
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成20年度に報告済の内容 → (20)

平成23年度に報告する内容 → (23)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて見え消し修正するとともに、上記と同様に「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組
 ・ 様式は, 平成20年度開設の博士後期課程の場合(平成22年度までの
 修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には
 には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の 名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
薬学研究科 薬科学専攻 修士(薬科学)	2 年	30 人	60 人	基礎となる学部等 薬学部薬科学科

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

報告年度 区分	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 () []	人 () []	30人 (-) [若干名]	人 () []	30人 (-) [若干名]	人 () []	1.58倍	
志願者数	() []	() []	57 (-) [3]	() []	58 (-) [2]	() []		
受験者数	() []	() []	52 (-) [3]	() []	56 (-) [2]	() []		
合格者数	() []	() []	47 (-) [3]	() []	49 (-) [2]	() []		
B 入学者数	() []	() []	47 (-) [2]	() []	48 (-) [2]	() []		
入学定員超過率 B/A			1.57		1.6			

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学年	平成22年度	平成23年度	備 考
1年次	[2] 47	[2] 48	
2年次	[-] -	[-] -	
3年次	[-] -	[-] -	
計	[2] 47	[2] 48	

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成22年度	計 [0] 0	(累積)計 [1] 47	[0%] 0 %
	うち平成19年度入学者 - 人	平成19年度 - 人	
	うち平成20年度入学者 - 人	平成20年度 - 人	
	うち平成21年度入学者 - 人	平成21年度 - 人	
	うち平成22年度入学者 0人	平成22年度 47人	
	(主な退学理由)		

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成23年度	計 [0] 2	(累積)計 [3] 95	[0%] 2.11%
	うち平成20年度入学者 - 人	平成20年度 - 人	
	うち平成21年度入学者 - 人	平成21年度 - 人	
	うち平成22年度入学者 2人	平成22年度 47人	
	うち平成23年度入学者 0人	平成23年度 48人	
	(主な退学理由)		

2 授業科目の概要

<薬学研究科 薬科学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
必修科目	薬科学特論	1~2通	4									指導体制強化のため、教員を追加(22)	
	講座特別演習	1~2通	6			22	18	15	19	20	17		
	薬科学特別実験	1~2通	10										
	薬科学特別演習	1~2通	2										
選択科目	生化学特論	1・2前		1		1	1	1	2				
	衛生分子毒性学特論	1・2前		1		1	2	1					
	薬理学特論	1・2前		1		1	1	1	1				
	医薬生命化学特論	1・2前		1		1	1	1	1				
	薬品分析学特論	1・2前		1		1	1	+	0	1		退職1名	
	医薬品製造化学特論	1・2前		1		1	0	1	+	0	1	退職1名、採用1名	
	生薬学特論	1・2前		1		1	1	1	1				
	薬物動態学特論	1・2前		1		1	0	1	+	0	+	2	指導体制強化のため、准助教を追加(22)
	創剤工学特論	1・2前		1		1	0	1			1	指導体制強化のため、野口准教授を追加(23)	
	分子病態学特論	1・2前		1		1	+	0					
	生体情報分子解析学特論	1・2前		1		1	1	1			1		
	薬物治療学特論	1・2前		1		3	2	5	+	3		指導体制強化のため、平川、辻助教を追加(22)	
	創薬育薬基礎特論	1・2前		1		1	1	1					
	創薬育薬応用特論	1・2前		1		1	1	1					
	薬化学特論	1・2前		1		1	1	1	1				
	薬品物理化学特論	1・2前		1		1	1	0	1	+	0	助教1名講師へ昇任	
	医薬品創製化学特論	1・2前		1		1	1	1	1				
	薬品資源学特論	1・2前		1		1	1	1	+	0			
	生物薬品化学特論	1・2前		1		1	1	1	1	1			
	免疫微生物学特論	1・2前		1		1	1	1	1	1			
	創薬探索学特論	1・2前		1		1	1	1	1	1			
分子疾患学特論	1・2前		1				1			1	カリキュラム充実を図るため科目を追加		
知的財産管理入門	1・2前		1								カリキュラム充実を図るため科目を追加 担当教員：非常勤教員3名		

(2) 授業科目数

届出時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
4	21	—	25	4	23	—	27	
				[0]	[2]	[—]	[2]	

(注)・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

—

- (注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考					
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体					
	校舎敷地	176,772.82㎡	0㎡	0㎡	176,772.82㎡						
	運動場用地	6,576.27㎡	0㎡	0㎡	6,576.27㎡						
	小 計	183,459.09㎡	0㎡	0㎡	183,459.09㎡						
	そ の 他	3,329.08㎡	0㎡	0㎡	3,329.08㎡						
	合 計	186,678.17㎡	0㎡	0㎡	186,678.17㎡						
(2) 校 舎	専 用	68,194.26㎡	0㎡	0㎡	68,194.26㎡	大学全体					
	(68,194.26㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(68,194.26㎡)							
(3) 教 室 等	講 義 室	49室	演 習 室	8室	実験実習室	34室	情報処理学習施設	10室	語学学習施設	3室	共用含む
	(補助職員 一人)		(補助職員 一人)								
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称				室 数						
	薬学研究科 薬科学専攻				72 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機械・器具	標 本	薬学、医学全般にわ たる図書数			
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕						〔うち外国書〕		
		冊	種	〔うち外国書〕	点	点	点				
		薬科学専攻	30,820 [4,720] (29,847 [4,659])	117 [25] (117 [25])	2,301 [2,301] (1,680 [1,680])	350 (305)	— (—)		— (—)		
計	30,820 [4,720] (29,847 [4,659])	117 [25] (117 [25])	2,301 [2,301] (1,680 [1,680])	350 (305)	— (—)	— (—)					
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体				
	5,996.21㎡		486席		約500,000冊						
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体				
	4,649.07㎡		テニスコート 8面 5,808㎡								
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	届出研究科（修士課程）全体		
		教員1人当り研究費等	455千円	455千円	図書購入費	65,000千円	65,000千円	65,000千円			
	共同研究費等	505,463千円	505,463千円	設備購入費	106,782千円	45,782千円	6,782千円				
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次				
		902千円	536千円	—千円	—千円	—千円	—千円				
学生納付金以外の維持方法の概要		運営費交付金、補助額、外部資金 等									

4 既設大学等の状況

大学の名称	静岡県立大学						備考		
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
薬学部						1.10		静岡県静岡市	
薬学科	6	80	—	480	学士(薬学)	—	平成18	駿河区谷田	
薬科学科	4	40	—	160	学士(薬科学)	—	平成18	52-1	
食品栄養科学部						1.15			
食品生命学科	4	25	—	100	学士(食品栄養科学)	1.18	昭和62		
栄養生命学科	4	25	—	100	学士(食品栄養科学)	1.13	昭和62		
国際関係学部						1.13			
国際関係学科	4	60	—	240	学士(国際関係学)	1.19	昭和62		
国際言語文化学科	4	120	—	480	学士(国際言語文化学)	1.10	昭和62		
経営情報学部						1.09			
経営情報学科	4	100	—	400	学士(経営情報学)	1.09	昭和62		
看護学部						1.00			
看護学科	4	55	3年次10人	240	学士(看護学)	1.00	平成9		
(修士課程)									
薬学研究科						1.33			
薬学専攻	2	—	—	—	修士(薬学)	1.42	昭和63		修士課程の薬学専攻、製薬学専攻、医療薬学専攻については、平成22年度から学生募集停止
製薬学専攻	2	—	—	—	修士(薬学)	1.20	昭和63		
医療薬学専攻	2	—	—	—	修士(医療薬学)	1.40	平成14		
生活健康科学研究科						1.28			
食品栄養科学専攻	2	25	—	50	修士(食品栄養科学)	1.58	平成3		
環境物質科学専攻	2	20	—	40	修士(環境科学)	0.92	平成3		
国際関係学研究科						1.50			
国際関係学専攻	2	5	—	10	修士(国際関係)	1.30	平成3		
比較文化専攻	2	5	—	10	修士(比較文化)	1.70	平成3		
経営情報学研究科						2.00			
経営情報学専攻	2	10	—	20	修士(経営情報学)	2.00	平成10		
看護学研究科						0.46			
看護学専攻	2	16	—	32	修士(看護学)	0.46	平成13		
(博士後期課程)									
薬学研究科						0.86			
薬学専攻	3	8	—	24	博士(薬学)	0.45	昭和63		
製薬学専攻	3	7	—	21	博士(薬学)	1.32	昭和63		
医療薬学専攻	3	5	—	15	博士(医療薬学)	0.86	平成14		
生活健康科学研究科						0.66			
食品栄養科学専攻	3	10	—	30	博士(食品栄養科学)	0.73	平成7		
環境物質科学専攻	3	7	—	21	博士(環境科学)	0.56	平成7		
静岡県立大学								静岡県静岡市	
短期大学部								駿河区小鹿	
看護学科	3	80	—	240	短期大学士(看護学)	1.04	平成9	2-2-1	
歯科衛生学科	3	40	—	120	短期大学士(歯科衛生学)	1.02	平成9		
社会福祉学科									
(社会福祉専攻)	2	50	—	100	短期大学士(社会福祉学)	1.11	平成9		
(介護福祉専攻)	2	50	—	100	短期大学士(社会福祉学)	0.97	平成9		

5 教員組織の状況

<薬学研究科 薬科学専攻>

(1) 担当教員表

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	鈴木 隆 (54)	平成22年4月	生化学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専	教授	出川 雅邦 (61)	平成22年4月	衛生分子毒性学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専	教授	石川 智久 (49)	平成22年4月	薬理学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専	教授	奥 直人 (57)	平成22年4月	医薬生命化学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専	教授	豊岡 利正 (58)	平成22年4月	薬品分析学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専	教授	菅 敏幸 (46)	平成22年4月	医薬品製造化学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専	教授	野口 博司 (59)	平成22年4月	生薬学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専	教授	山田 静雄 (61)	平成22年4月	薬物動態学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専	教授	板井 茂 (57)	平成22年4月	創剤工学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専	教授	森本 達也 (43)	平成22年4月	分子病態学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専	教授	菅谷 純子 (59)	平成22年4月	生体情報分子解析学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専	教授	賀川 義之 (50)	平成22年4月	薬物治療学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専	教授	伊藤 邦彦 (49)	平成22年4月	薬物治療学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専	教授	山田 浩 (53)	平成22年4月	創薬育薬基礎特論 創薬育薬応用特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						

雇出時の計画				変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月		担当授業科目名
専	教授	並木 徳之 (54)	平成22年4月	薬物治療学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専	教授	眞鍋 敬 (44)	平成22年4月	薬化学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専	教授	藤井 敏 (63)	平成22年4月	薬品物理化学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専	教授	赤井 周司 (50)	平成22年4月	医薬品創製化学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専	教授	宮瀬 敏男 (63)	平成22年4月	薬品資源学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専	教授	星野 稔 (63)	平成22年4月	生物薬品化学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専	教授	今井 康之 (55)	平成22年4月	免疫微生物学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専	教授	浅井 章良 (46)	平成22年4月	創薬探索学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専	准教授	左 一八 (47)	平成22年4月	生化学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専	准教授	高木 邦明 (53)	平成22年4月	衛生分子毒性学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専	准教授	根本 清光 (51)	平成22年4月	衛生分子毒性学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専	准教授	斎藤 真也 (44)	平成22年4月	薬理学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専	准教授	武田 厚司 (54)	平成22年4月	医薬品生命化学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専	准教授	東 達也 (41)	平成22年4月	薬品分析学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習	専	准教授	轟木 堅一郎 (37)	平成22年5月	薬品分析学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習	平成21年4月 東准教授退職 平成22年5月 後任として轟木准教授着任
					専	准教授	濱島 義隆 (36)	平成22年5月	医薬品製造化学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習	教育体制の充実を図るため 平成22年5月 濱島准教授を採用
専	准教授	阿部 郁朗 (49)	平成22年4月	生薬学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習	専	准教授	渡辺 賢二 (41)	平成22年4月	生薬学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習	平成21年4月 阿部准教授退職 平成21年9月 後任として渡辺准教授着任
専	准教授	上村 和秀 (39)	平成22年4月	分子薬理学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	五十里 彰 (38)	平成22年4月	生体情報分子解析学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専	准教授	宮崎 靖則 (46)	平成22年4月	薬物治療学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専	准教授	前田 利男 (61)	平成22年4月	薬物治療学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専	准教授	石川 吉伸 (42)	平成22年4月	薬品物理化学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専	准教授	海野 けい子 (56)	平成22年4月	生物薬品化学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専	准教授	川島 博人 (44)	平成22年4月	免疫微生物学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専	准教授	澤田 潤一 (40)	平成22年4月	創薬探索学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
					専	准教授	野口 修治 (44)	平成23年4月	創剤工学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習	教育体制の充実を図るため 平成23年4月 野口准教授を採用
専	講師	関本 征史 (38)	平成22年4月	衛生分子毒性学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専	講師	小原 一男 (59)	平成22年4月	薬理学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専	講師	浅井 知浩 (35)	平成22年4月	医薬生命化学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専	講師	稲垣 真輔 (34)	平成22年4月	薬品分析学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習	専	講師	稲垣 真輔 (35)	平成22年4月	薬品分析学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習	平成23年3月 稲垣講師退職
専	講師	竹元 万壽美 (55)	平成22年4月	医薬品製造化学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習	専	講師	竹元 万壽美 (56)	平成22年4月	医薬品製造化学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習	平成23年3月 竹元講師退職
専	講師	梅原 薫 (48)	平成22年4月	生薬学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専	講師	尾上 誠良 (36)	平成22年4月	薬物動態学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習	専	准教授	尾上 誠良 (37)	平成22年4月	薬物動態学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習	平成23年4月 尾上講師昇任
専	講師	石井 康子 (56)	平成22年4月	薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
					専	講師	内野 智信 (43)	平成22年5月	薬物治療学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習	教育体制の充実を図るため 平成22年5月 内野講師を採用
専	講師	林 秀樹 (37)	平成22年4月	薬物治療学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						

届出時の計画					変更状況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	講師	井上 和幸 (37)	平成22年4月	薬物治療学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専	講師	小菅 和仁 (44)	平成22年4月	創薬薬基礎特論 創薬薬応用特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専	講師	内田 信也 (41)	平成22年4月	薬物治療学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専	講師	加藤 安宏 (38)	平成22年4月	薬物治療学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専	講師	岩本 憲人 (47)	平成22年4月	薬化学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専	講師	江木 正浩 (38)	平成22年4月	医薬品創製化学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専	講師	石田 均司 (60)	平成22年4月	薬品資源学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専	講師	井口 和明 (53)	平成22年4月	生物薬品化学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専	講師	三宅 正紀 (43)	平成22年4月	免疫微生物学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専	講師	松野 研司 (42)	平成22年4月	創薬探索学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専	助教	高橋 忠伸 (33)	平成22年4月	生化学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専	助教	南 彰 (33)	平成22年4月	生化学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専	助教	金子 雪子 (33)	平成22年4月	薬理学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専	助教	清水 広介 (31)	平成22年4月	医薬生命化学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専	助教	関 俊哲 (34)	平成22年4月	薬品分析学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専	助教	脳本 敏幸 (36)	平成22年4月	医薬品製造化学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習	専	助教	浅川 倫宏 (31)	平成22年4月	医薬品製造化学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習	平成22年1月 脳本講師(H.21.10昇任)退職 平成22年1月 後任として浅川助教兼任
専	助教	森田 洋行 (35)	平成22年4月	生薬学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習	専	助教	鳥飼 浩平 (31)	平成22年3月	生薬学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習	平成21年5月 森田助教退職 平成22年3月 後任として鳥飼助教兼任 平成22年11月 鳥飼助教退職
					専	助教	鏑 清史 (27)	平成23年4月	生薬学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習	教育体制の充実を図るため 平成23年4月 鏑助教を採用

届出時の計画					変更状況					備考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	助教	伊藤 由彦 (33)	平成22年4月	薬物動態学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
					専	助教	瀧 優子 (30)	平成22年4月	薬物動態学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習	教育体制の充実を図るため 平成21年5月 瀧助教を採用
専	助教	岩尾 康範 (31)	平成22年4月	創剤工学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専	助教	山崎 泰広 (37)	平成22年4月	生体情報分子解析学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
					専	助教	平川 誠太郎 (28)	平成23年4月	薬物治療学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習	教育体制の充実を図るため 平成23年4月 平川助教を採用
専	助教	谷澤 康玄 (46)	平成22年4月	薬物治療学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
					専	助教	辻 大樹 (36)	平成21年8月	薬物治療学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習	教育体制の充実を図るため 平成21年8月 辻助教を採用
専	助教	鈴木 由美子 (42)	平成22年4月	薬化学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習	専	講師	鈴木 由美子 (44)	平成23年4月	薬化学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習	平成23年4月 鈴木助教昇任
					専	助教	小西 英之 (31)	平成21年8月	薬化学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習	教育体制の充実を図るため 平成21年8月 小西助教を採用
専	助教	横山 英志 (36)	平成22年4月	薬品物理化学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習	専	講師	横山 英志 (37)	平成23年4月	薬品物理化学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習	平成23年4月 横山助教昇任
専	助教	井川 貴詞 (32)	平成22年4月	医薬品創製化学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専	助教	山本 博之 (31)	平成22年4月	生物薬品化学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専	助教	黒羽子 孝太 (36)	平成22年4月	免疫微生物学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
専	助教	海野 雄加 (32)	平成22年4月	創薬探索学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習						
					専	助教	刀坂 泰史 (30)	平成23年4月	分子疾患学特論 薬科学特論 講座特別演習 薬科学特別実験 薬科学特別演習	教育体制の充実を図るため 平成22年4月 刀坂助教を採用

(2) 専任教員数

届出時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
22	15	19	17	73	—	22	18	19	20	79	—	
(22)	(15)	(21)	(21)	(79)	(—)	[0]	[+3]	[0]	[+3]	[+6]	[—]	

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	准教授	阿部 郁朗	他大学転出のため
2	准教授	東 達也	他大学転出のため
3	講師	稲垣 真輔	他大学転出のため
4	助教	脇本 敏幸	他大学転出のため
5	講師	竹元 万壽美	他大学転出のため
6	助教	鳥飼 浩平	他大学転出のため
7	助教	森田 洋行	他大学転出のため

(注) ・届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>教員の研究活動の研鑽にとって有益な転出であり、将来的に本学への帰任を期待するものである。 また、学生への周知については、所属研究室の学生に対して当該研究室の主任教員（教授）から口頭で説明するとともに、全学的には大学広報誌上に掲載している。</p>
--

(注) ・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
- ・ 入学定員超過に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<薬学研究科 薬科学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

届出時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
該当なし	該当なし

- (注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で、届出時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置届出書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況
薬学部・薬学研究科FD委員会を平成20年度に設置

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
薬学部・薬学研究科FD委員会を年2回程度開催しているほか、全学FD委員会（年7回程度開催）に委員2名が参加している。

c 委員会の審議事項等
年間の事業計画など

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 研究活動に関する研修会（特許及び著作権等）
- ・ 教育活動に関する研修会（アカデミックハラスメント等）
- ・ 授業評価アンケートの実施及び教員へのフィードバック
- ・ その他公開授業の実施、保護者との意見交換会の開催など

b 実施方法

- ・ 講師を招いての講習会
- ・ 学生によるアンケート調査
- ・ 教員同志の意見交換等を通じた勉強会
- ・ 教員相互による授業評価及び意見交換

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 研修会形式によるものは、研究活動に関するもの、教育活動に関するもの各年1回程度開催しており、毎回80%以上の教員が出席している。
- ・ 授業評価については、すべての授業を対象として評価を行っており、評価結果を各教員にフィードバックしている。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 授業評価は、全学的に実施されるため、評価項目については全学FD委員会が前年度の実施状況を踏まえ毎年見直しを行っている。薬学部FD委員会では、評価結果を授業改善に効果的に反映させる具体的手法について検討を行っているほか、今後、教員同士による授業参観及び評価を実施することを検討している。

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本専攻は、現時点（5月1日）で総括評価等を行っていない。

本学では、中期計画に基づいて毎年、年度計画を策定し、年度終了後に自己点検・評価を実施することで教育・研究活動の達成管理を行っている。

本専攻に関しては、最初の修了生を送り出す平成24年3月以降に本格的な自己点検・評価を実施していく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・毎年、対象年度の翌年度8月に公表

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成21年度に大学として評価機関（財団法人大学基準協会）の評価を受審済

(注) ・ 届出時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表予定時期 (平成23年6月)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
「文部科学省への提出書類」 (http://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/outline/mext_document/index.html)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。
なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。

